



豊かな香り、色鮮やかな緑の季節

# 白川の風



ふるさと茶屋情報誌  
2009. 春号 vol.28

いつもは寒い白川の地も今年は暖冬。雪が少なく過ごしやすい冬となりましたが、皆様のお住まいの地域はいかがでしたでしょうか？

冬の眠りから覚めた鱒瀬茶園では草花の小さな緑が輝きを見せ始め、新茶に向けての作業がスタートしました！冬場は事務所や包装の作業を行うことがほとんどですが、いよいよ茶畑での外仕事です。体も少しなまっているのであちらこちらが筋肉痛になりますが、徐々に慣れていける時期に向います。

皆様安心してお暮らし上がりいただけるお茶を目指し、今年の新茶からこだわりの新商品を発売することになります。美味しさだけでなくより安心していただける商品をお届けできるようがんばって参りますので、今後ともご愛顧のほどよろしくお願いいたします。

## 茶畑日記

山里の茶畑もやさしい春風吹いて

もうすぐ新茶の季節



長い冬も終わり、茶の木もさめやかな風とともに眠りから覚めました。茶畑では新茶に向けて春肥料の散布や摘採面を均一にする春整枝の作業が始まりました。春整枝は刈る時期や深さなどで新茶の収穫量や時期に大きく影響します。そのため気の許せない大切な作業です。鱒瀬茶園の茶畑はなだらかな斜面もありますが急な斜面が多く階段状の茶畑(テラスと呼ぶ)が点在し足場の悪いテラスでの作業は大変です。テラスでは日当たりが良くお茶の木も成長も早く太陽の恵みをいっぱい受けるので一段と良質な新芽になります。連霜の影響が心配ですが曇もワクワクする時もあります。春整枝作業の後、茶畑全体をながめると茶の木の色づきが良く今年も良質な新芽が期待できそうです。

テラスは大雨が降るとくずれたりして足場が悪くなります。そのため定期的な補修作業が必要です。春作業の前に今年も何ヶ所か補修をしました。茶畑の作業は、手をかけることがたくさんありますが、お茶の木のためにまた、作業を安全に行うためにも手を抜くことはできません。



茶畑の道には補修作業のためにあつめた木がたくさんありました。

## 鱒瀬に農園付きコテージが仲間入り

3月27日、黒川鱒瀬地区・農園付きコテージ5棟の竣工式が行われました。ますぶち園の窓から一望できるところにあります。「東濃松(ヒノキ)」の産地である白川町。ぬくもりとやすらぎを感じる木造の家は田舎暮らしを体験できる農園付きコテージとして都会の人たちに活用してもらうために作られました。



のどかな風景の中のコテージ

澄んだ空気と清流の里山とに身共になりフレッシュ。とびきりの清流と豊かな緑が自慢の白川町での生活を通じ、人と人との交流により、若者が減り老人家庭が増加しているこの地域が活性化すると良いと思います。



施行中



完成